

令和3年度事業報告書

社会福祉協議会では、「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を基本理念として掲げ、住みやすい環境で、地域の人々がお互いに支え合い、だれもが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動してきました。

複合的な課題が山積する昨今、住民同士のつながりか希薄化していく一方で福祉ニーズも多様化し、地域住民や諸団体の参加と協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの一層の充実が求められています。また、近年の福祉を取り巻く環境は、少子・高齢社会の進展や人口減少、ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦のみ世帯の増加など家族形態の変容による家族内の見守りや介護機能の低下、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が危惧される中で、生活困窮、孤独死、消費者被害など、地域からの孤立を起因とする様々な生活課題が現れ、その問題が多様化、深刻化しています。また、従来の制度や法の枠組みの中では十分に対応できない制度の狭間への取り組みなど、災害時の活動も含めて社会福祉協議会の取り組むべき課題は大きくなっています。

こうしたことから、地域のなかで不安を抱える人が孤立することのないよう、そこに住む住民がみんなで問題の解決に向けて考え、支え合い、助け合いながら自分にできる範囲で活動できる仕組みを広め、また発掘し、地域の福祉力を高める活動を、市内8地区において行政及び関係する団体と共に進めている「地域支え合い協議体」のなかでも盛んに議論され活動への取り組みが始まっています。

社会福祉協議会は、住民の地域福祉活動に対する支援や、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、情報提供や連絡調整を行い、公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、公的な福祉サービスでの総合的な対応が不十分であることなどから生まれる問題等を、藤岡市はもとより関係機関や関係団体等との緊密な連携を図りながら令和3年度事業計画で定めた重点事業である「法人運営の在り方について」「総合相談窓口の対応について」「成年後見センター及び法人後見事業への取り組み」「さくらの家の利用者の通所率向上について」等に努め以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

| | |
|--------|----------|
| 普通会員 | 19,991世帯 |
| 賛助会員 | 190世帯 |
| 特別賛助会員 | 324社 |

2. 理事会・評議員会等開催状況

| | | |
|-------------|----|---------|
| 理事会 | 5回 | 決議の省略2回 |
| 評議員会 | 3回 | |
| 監査会 | 1回 | |
| 総務委員会 | 1回 | |
| 広報委員会 | 3回 | |
| 評議員選任・解任委員会 | 2回 | |

3. 広報活動

(1) 広報紙「ふじおか社協だより」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報誌を発行しました。A4 2色8ページの広報紙を5月・9月・1月の年3回にわたり、市内全戸及び特別賛助会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページ管理運営

事業計画及び事業報告並びに計算書類等の掲載の他、各種事業の募集等を広く市民に発信するために、本会ホームページの適切な管理運営に努めました。

4. 指導・育成

①本会役職員の研修について

内部研修の他、他機関の研修会等への参加を通して資質の向上や知識の習得に努めました。

②実習生の受入れ

次世代を担う人材を育成するため、実習生の受け入れを行いました。対象は藤岡市在住、在勤、在職者で、社会福祉士養成における相談援助実習や教員の介護現場実習等、資格や単位取得に向けた内容の他、学生の体験学習の受入れも行いました。

5. 地域福祉活動

心配ごと相談や結婚相談を定期的で開催し、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

| 事業名 | 開催日数 | 相談件数 | 紹介件数 | 成立件数 |
|----------|------|------|------|------|
| 心配ごと相談事業 | 14日 | 12件 | — | — |
| 結婚相談事業 | 14日 | 58件 | 3件 | 0件 |

◇ 成年後見・相続・遺言に関する無料相談会

・群馬県行政書士会藤岡支部の協力を得て、専門的な相談に応じました。

| | |
|------|-----|
| 相談件数 | 14件 |
|------|-----|

6. 善意銀行

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

| 種類 | 件数 | 金額 | 摘要 |
|------|-----|----------|--------------------|
| 一般寄付 | 16件 | 608,690円 | |
| 愛の募金 | 1件 | 7,494円 | |
| 物品 | 42件 | — | 米、タオル、介護用品、その他日用品等 |

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図り活動の推進に努めると共に、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、連合婦人会、子ども会育成会、保育園長会、支部社会福祉協議会に助成を行いました。

8. 収益事業

(1) 自動販売機清涼飲料水売り上げ代

・収益金 34,136円

9. 歳末たすけあい運動

「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上のたすけあい募金をお願いしました。

| 地区名 | 令和2年度 | 令和3年度 | 前年対比 |
|-----|------------|------------|---------|
| 藤岡 | 460,460円 | 457,500円 | △2,960円 |
| 神流 | 256,500円 | 256,500円 | 0円 |
| 小野 | 377,600円 | 378,400円 | 800円 |
| 美土里 | 234,500円 | 231,500円 | △3,000円 |
| 美九里 | 161,500円 | 161,200円 | △300円 |
| 平井 | 128,100円 | 127,400円 | △700円 |
| 日野 | 52,400円 | 51,800円 | △600円 |
| 鬼石 | 194,210円 | 194,900円 | 690円 |
| 合計 | 1,865,270円 | 1,859,200円 | △6,070円 |

10. 各種援助活動

生活が困窮している社会的弱者を対象に、群馬県社会福祉協議会と連携のもと、相談支援や資金の貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1) 貸付、給付事業

| 生活福祉資金貸付事業 | 申請件数 | 貸付申請額 |
|-------------------|------|--------------|
| 総合支援資金 | 1件 | 212,000円 |
| 福祉資金(福祉費) | 1件 | 54,000円 |
| 福祉資金(緊急小口資金) | 2件 | 200,000円 |
| 教育支援資金 | 0件 | 0円 |
| 不動産担保型生活資金 | 0件 | 0円 |
| 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 | 0件 | 0円 |
| 臨時特例つなぎ資金 | 0件 | 0円 |
| 緊急小口資金特例貸付 | 133件 | 26,500,000円 |
| 総合支援資金特例貸付(延長含) | 174件 | 93,600,000円 |
| 総合支援資金特例貸付(再貸付) | 136件 | 72,900,000円 |
| 合計 | 447件 | 193,466,000円 |

| 独自制度 | 件数 | 貸付額 |
|------------|----|---------|
| 小口生活資金貸付事業 | 1件 | 20,000円 |
| 緊急時食料支援事業 | 3件 | 5,807円 |

(2) 災害見舞い

| 種別 | 件数 | 見舞金詳細 | |
|-------|----|--------|------------------|
| 災害見舞い | 3件 | 全焼（全壊） | 10,000円／1件につき 3件 |
| | | 半焼（半壊） | 5,000円／1件につき 0件 |
| | | 死亡 | 10,000円／1人につき 0件 |

(3) 行旅者救済

| 種別 | 件数 | 金額 | 備考 |
|-------|----|------|------------|
| 行旅者救済 | 3件 | 900円 | 300円／1件につき |

11. 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理や通帳預かり等の支援を行いました。また、適切な支援を行うことが出来るよう、生活支援員の資質向上に向けた研修会等を開催しました。

・実施状況

| | |
|--------|------|
| 実利用者数 | 31人 |
| 延べ利用者数 | 332人 |
| 相談件数 | 923件 |
| 新規契約件数 | 7件 |

※内訳：認知症高齢者4件、精神障害者3件
知的障害者 0件

・生活支援員

| 登録数 | 延べ稼働時間 | 賃金 |
|-----|---------|------------|
| 21人 | 438.5時間 | 1,000円／1時間 |

12. 生活困窮者自立支援事業

藤岡市より生活困窮者自立支援事業の委託を受け、就労の支援その他の自立に関する問題について生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

| 新規相談件数 | 相談支援事業申込件数 | プラン作成件数 | 支援調整会議開催日数 |
|--------|------------|---------|------------|
| 285件 | 196件 | 46件 | 6回 |

・制服バンク事業

低所得者世帯を中心に、児童が安心して学習に取り組めるよう、就学支援の一環として、各家庭で不要となった制服を無償で提供していただき、必要とされる児童に活用していただくため「制服バンク事業」の実施を行いました。

13. 成年後見支援センター及び法人後見事業（新規）

高齢の方や障がいのある方の「生活」や「財産」に関する不安や困りごとについて、相談に応じ、成年後見制度が必要な方やそのご家族などに申立の説明や利用手続きの助言等を行いました。また、適切な後見人等がない方について本会の受任が適当と認められた場合は、後見人等の候補者をお受けし、家庭裁判所の審判が確定後、後見人等としてご本人の「身上保護」及び「財産管理」の支援を行いました。

| | | |
|------------|------|--------------------|
| 成年後見支援センター | 相談件数 | 45件 |
| 法人後見事業 | 申立件数 | 4件 受任件数 2件（内、1件死亡） |

・令和4年3月6日（日）みかぼみらい館小ホールにて障害のある人の未来を考える講演会を開催し、障害のある人の「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備を演題として開催し、96人の方が参加しました。

14. 生活支援体制整備事業

藤岡市より生活支援体制整備事業の委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、各地区協議体や第一層に係わる会議の開催、協議体委員を対象とした研修会の開催等を行いました。

| 開催内容 | 開催数 |
|-----------------|-----|
| 各地区協議体（市内8地区） | 32回 |
| 第1層分科会（第1～2分科会） | 5回 |
| 第1層全体会 | 1回 |

・市民への啓発を目的として、地域で実施されている活動の紹介を各地区の生活支援コーディネーター及び事務局が作成しパネル展示を行いました。

展示期間 令和4年3月7日（月）から3月18日（金）

展示場所 市役所（喫茶店前）、各公民館、会遊亭、多野藤岡農業協同組合

展示内容 地域支え合い協議体の概要について、藤岡市地域支え合い協議体について、各地区地域支え合い協議体について等

15. 総合相談窓口

総務課内に相談窓口を開設し、誰にも助けを求められずに、社会的に孤立している人や制度の狭間で支援を受けられない人などに対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が様々な生活課題を抱える世帯への相談支援を行いました。

・実施状況

| 開所日数 | 相談件数 | | |
|------|------|-----|----------|
| | 実件数 | 94件 | 延件数 529件 |
| 242日 | | | |

・実相談件数内訳

| 相談内容 | 件数 | 相談内容 | 件数 |
|-----------------|-----|-------------|-----|
| 病気や健康・障害のことについて | 15件 | 収入・生活費について | 16件 |
| 家族との関係について | 12件 | 衛生環境のことについて | 2件 |
| ひきこもり・不登校について | 8件 | 地域との関係について | 10件 |
| 住まいについて | 3件 | 介護関連のことについて | 4件 |
| 税金や公共料金等の支払について | 0件 | 生活福祉資金について | 2件 |
| 仕事上の不安やトラブル | 5件 | 債務について | 3件 |
| 子育てについて | 2件 | 食料について | 0件 |
| DV・虐待について | 2件 | その他 | 10件 |

コミュニティソーシャルワーカー活動内容（研修、会議、周知活動等）

| | | | |
|-------------|---------------|----------------|--------------|
| 各種研修・講演会等参加 | 研修会・講演会等に係る活動 | 自立相談支援事業支援調整会議 | 行政書士と協働した相談会 |
| 6回 | 5回 | 7回 | 10回 |
| 関係機関等への周知活動 | 民児協定例会への参加 | 寄付等の繋ぎ | その他 |
| 18回 | 43回 | 4回 | 1回 |

16. 高齢者自立センター事業

介護認定審査により、要介護認定結果が非該当で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に、事業を推進しました。

| | 事業名 | 実施日数 | 延べ利用者数 |
|----------------|------------|------|--------|
| 藤岡市高齢者自立センター藤岡 | デイサービス事業 | 75日 | 870人 |
| | ホームヘルプ事業 | 209日 | 594人 |
| | 転倒骨折予防 | 24日 | 96人 |
| | 短期集中トレーニング | 12日 | 41人 |
| 藤岡市高齢者自立センター鬼石 | デイサービス事業 | 74日 | 317人 |
| | ホームヘルプ事業 | 145日 | 73人 |
| | 転倒骨折予防 | 24日 | 121人 |
| | 短期集中トレーニング | 11日 | 49人 |

17. ミニデイサービス事業

概ね75歳以上の高齢者を対象に市内68会場でミニデイサービスを開催し、地域で暮らす高齢者の介護予防に努めました。

| | |
|--------|-------------------|
| 延べ利用者数 | 2,029人 |
| 延べ実施回数 | 380回（1会場につき月1回開催） |
| 会場数 | 69か所 |

18. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる「みどの学童クラブ」の運営を市から受託を受け行いました。

| | |
|-------|------|
| 開所日数 | 289日 |
| 登録児童数 | 36人 |

19. 栗須の郷運営事業

浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

| | |
|--------|---------------------------|
| 開所日数 | 76日 |
| 延べ利用者数 | 9,339人（内・市民8,127人 全体の87%） |

20. ふれあい型食事サービス事業

住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とし、地域のボランティアを中心に70歳以上で近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ、食事を配達しながら安否確認を行いました。孤独感の解消を図るとともに、地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がりました。

| 実施地区 | 実施日数 | 延べ配食数 | 備考 |
|------|------|--------|--------------|
| 藤岡地区 | 30日 | 1,006食 | 月4回(第1～4木曜日) |
| 鬼石地区 | 16日 | 136食 | 月2回(第2・4木曜日) |

21. ボランティアセンター

総務課内に「ボランティアセンター藤岡」を設置し、平日に加え第一土曜日も開所することで相談機能の強化を図り、また、資質の向上とグループ間の交流を図る事を目的に、各種講習会、研修会等を開催し、指導、育成に努めました。

更に、ボランティアネットワークセンターウィズと協力し、活動を希望する個人や団体、ボランティアの応援を受けたい人との橋渡しを行いました。

また、近年多発している自然災害に備え、藤岡青年会議所、神流町社会福祉協議会、上野村社会福祉協議会と本会による災害時の協力体制を行うにあたり、4法人による協定を締結しました。

| | |
|-------------|------|
| 登録団体数 | 57団体 |
| 個人ボランティア登録数 | 43人 |

◇ 点訳奉仕者養成講座 体験コース 6日間 延べ参加者数 22人参加

22. 老人福祉車(手押し車)の一部購入補助事業

老人福祉の向上を目的に、高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車(手押し車)を購入する費用の一部を助成しました。

- ・補助台数 45台
- ・助成額 225,000円(1台につき5,000円を補助)

23. 福祉車両貸出事業

藤岡市より福祉車両貸出事業の委託を受け、介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと乗降可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とした事業を行いました。

- ・貸出件数 43件

24. 福祉教育推進事業

児童・生徒が体験学習の機会を通じて、社会福祉への理解と関心を高めると共に、日常生活面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識してもらうため、小・中学校生を対象に福祉教育の推進を図りました。また、高齢者疑似体験用具の貸出や実習実施際にも福祉教育の推進に努めました。

25. 安心カード交付事業

緊急連絡先、かかりつけ医、服薬等の情報を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や急変時に対応が出来る、安心・便利な「安心カード」の配布を行いました。

この事業は平成24年度から、藤岡市民生児童委員協議会と共催で実施しています。

・累計配布状況

| 配布先 | 世帯数 |
|--------------|---------|
| 65歳以上一人暮らし世帯 | 1,122世帯 |
| 障害者（児）のいる世帯 | 25世帯 |
| その他の世帯 | 86世帯 |
| 合計 | 1,233世帯 |

26. 見守り支援推進事業

様々な生活課題が地域に山積している中、ひきこもりに焦点を絞り、ひきこもりの家族の方がリフレッシュ出来ることを目的としたサロンの実施、啓発を目的とした講演会の開催等を行いました。

・「ほっとサロン」実施状況

| | |
|--------|----|
| 延べ開催数 | 6回 |
| 延べ参加者数 | 3名 |

27. 在宅福祉サービス

(1) 介護保険サービス

| サービス種別 | 営業日数 | 実施状況 |
|--------|------|-------------------|
| 居宅介護支援 | 242日 | 延べケアプラン作成数 1,435件 |

(2) 介護保険外サービス

| サービス種別 | 開所日数 | 実施状況 |
|--------------|------|---------------------|
| 在宅介護支援センター栗須 | 365日 | 延べ相談件数（訪問含む） 1,250件 |
| 在宅介護支援センター鬼石 | 365日 | 〃 1,509件 |

28. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営を行いました。

| 種別 | 開所日数 | 年間利用者数 | 登録人数 | 平均工賃（月額） |
|------------|------|--------|------|----------|
| 生活介護事業 | 240日 | 2,226人 | 11人 | 3,004円 |
| 就労継続支援B型事業 | 240日 | 2,635人 | 13人 | 16,391円 |